

伝統文化の 源流に触れる

2014年 3月23日(日)

■12:30～受付 ■13:00～開始 ■15:30終了予定

■会場：国立文楽劇場・小ホール



<第1部> 「料理と人生」

みちば ろくさぶろう

講師：道場 六三郎氏

1931年生まれ。銀座「くろかべ」で料理人としての第一歩を踏み出す。フジテレビ「料理の鉄人」では、初代「和の鉄人」として輝かしい成績を収めた。1968年に銀座で「新とんぼ」、1971年に「ろくさん亭」を開店、2000年に新しいスタイルの和食「懐食みちば」を開店。現在も仕事にゴルフにバリバリ元気に挑戦。

生い立ち、料理人になったきっかけ、修行時代のこと、数江瓢鮎子(かずえひょうねんし)先生との出会い、鉄人のこと、アメリカの料理学校へ講師として招かれたこと、そして「おもてなし」についてなどお話いただきます。



<第2部> 「わの舞」

ひがしむら あきひさ りえ うえき まさふみ

出演：東村 彰尚氏・梨絵氏、植木 雅文氏・みちる氏

「わの舞」初期より、主宰者の千賀一生(ちがかずき)氏に師事し、現在は全国各地で「わの舞」講師として活躍。昨年はバレエとの初共演。高等学校の体育の授業・部活でスポーツへの応用のため若い方に伝える。また夫婦間の健全なパートナーシップの育み方を広く伝えている。

踊りの根本文化を現代に復活させたものです。遠い昔、人類は踊ることで人や自然界と調和しました。原始社会では人々は円形に集まり、円の中央の聖域につながるために踊りました。心と体をより自然な状態にして、人々が完全な調和を保つためになくはならなかった時代の踊りのあり方を再現します。



<第3部> 「懐石マナーについて」

ふくだ とくこ

講師：福田 徳子氏

1948年生まれ。表千家茶道教授数江瓢鮎子(かずえひょうねんし)先生に師事し茶事を学ぶ。茶道教室を開き、点前、茶事、懐石料理を勉強、研究。

茶の湯を楽しむ為には、まず美味しいお茶をふるまい、ふるまわれること、その為には点前の稽古、所作の練磨に励まなければならず、繰り返し行い、自分で茶の湯と言うものを身につけなければならないこと、そして茶の湯の中に食事を頂く事もあり、その料理「懐石」のマナーについてなどお話いただきます。

当日は、数江瓢鮎子先生門下工芸家のミニ作品展を併設致します。出品予定作家：川邊庄造氏、高橋楽斎氏、高木岩華氏、山本英治氏

現地ご案内



- 会場／国立文楽劇場小ホール(大阪府中央区日本橋1-12-10)
最寄駅：堺筋線・千日前線「日本橋」駅下車 7番出口より徒歩1分
 - 参加無料
事前にハガキもしくはメールに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。
 - 主催・連絡先
社団法人老人文化会議(〒550-0006大阪府西区江之子島1-7-3)
TEL:06-6444-2777 E-mail:info@eldernets.or.jp
- ※お送りいただいた個人情報はこのイベントおよび、当法人が今後開催するイベントの際にのみ使用させていただきます。